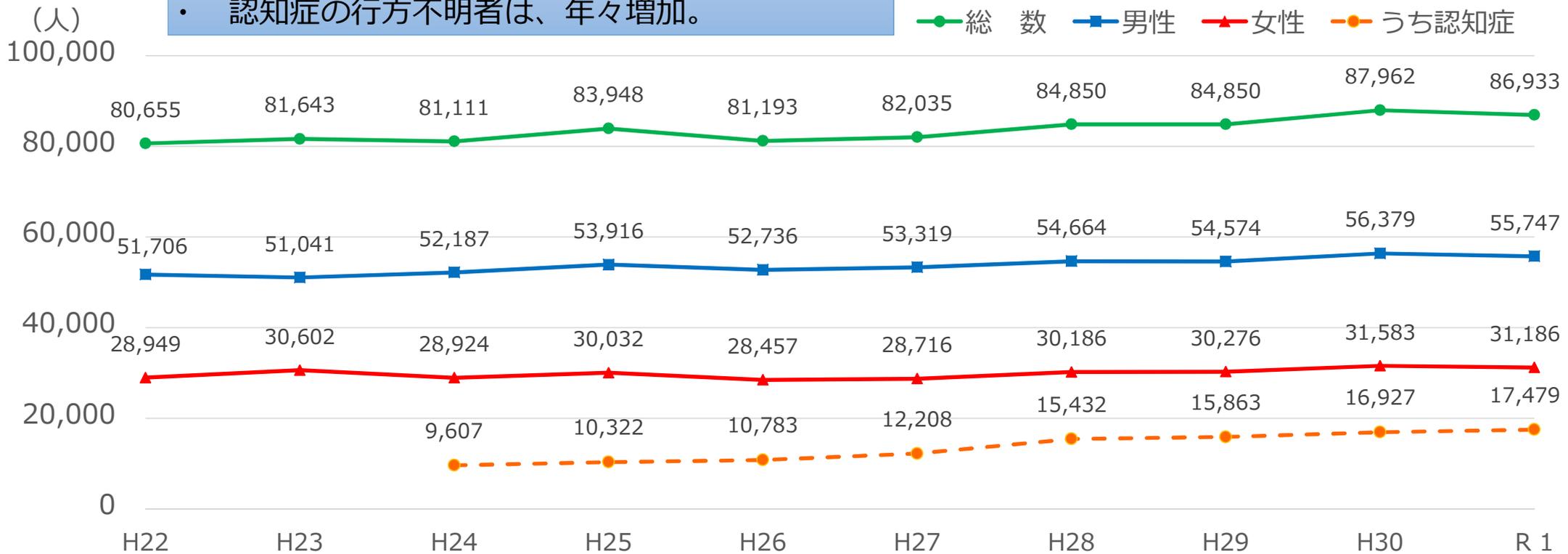


1 行方不明者数の推移

- 過去10年間では、ほぼ横ばいで推移。
- 認知症の行方不明者は、年々増加。



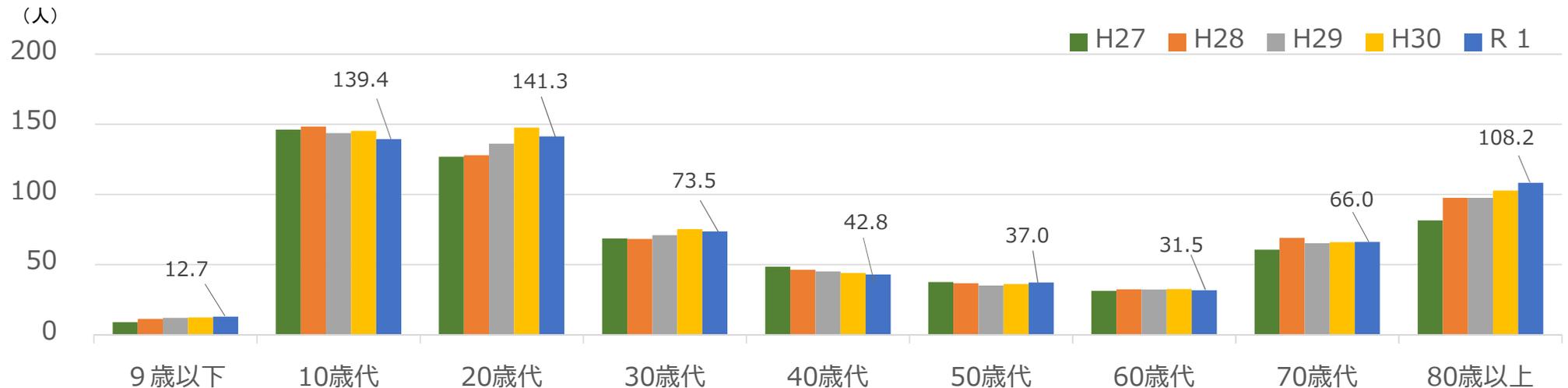
注1 行方不明者数は、警察に行方不明届が出された者の数で、延べ人数。

注2 認知症は、行方不明者届受理時に届出人から、認知症又はその疑いにより行方不明になった旨の申出のあった者。

2 行方不明者数の推移(年齢層別) ※人口10万人当たり

単位：人	H27		H28		H29		H30		R 1	
	行方不明者数	人口10万人当たり								
9歳以下	900	8.7	1,132	11.0	1,198	11.8	1,216	12.1	1,253	12.7
10歳代	17,071	146.2	17,118	148.2	16,412	143.6	16,418	145.3	15,572	139.4
20歳代	16,005	126.8	16,038	127.9	17,052	136.2	18,518	147.6	17,852	141.3
30歳代	10,827	68.5	10,495	68.2	10,615	70.8	10,996	75.2	10,512	73.5
40歳代	8,980	48.3	8,769	46.2	8,502	45.0	8,239	43.9	7,935	42.8
50歳代	5,856	37.5	5,649	36.6	5,507	35.0	5,761	36.0	6,016	37.0
60歳代	5,715	31.2	5,942	32.2	5,663	31.9	5,488	32.4	5,109	31.5
70歳代	8,558	60.5	9,589	68.8	9,425	65.0	10,000	65.9	10,517	66.0
80歳以上	8,123	81.5	10,118	97.5	10,476	97.5	11,326	102.6	12,167	108.2

※ 小数第2位以下四捨五入

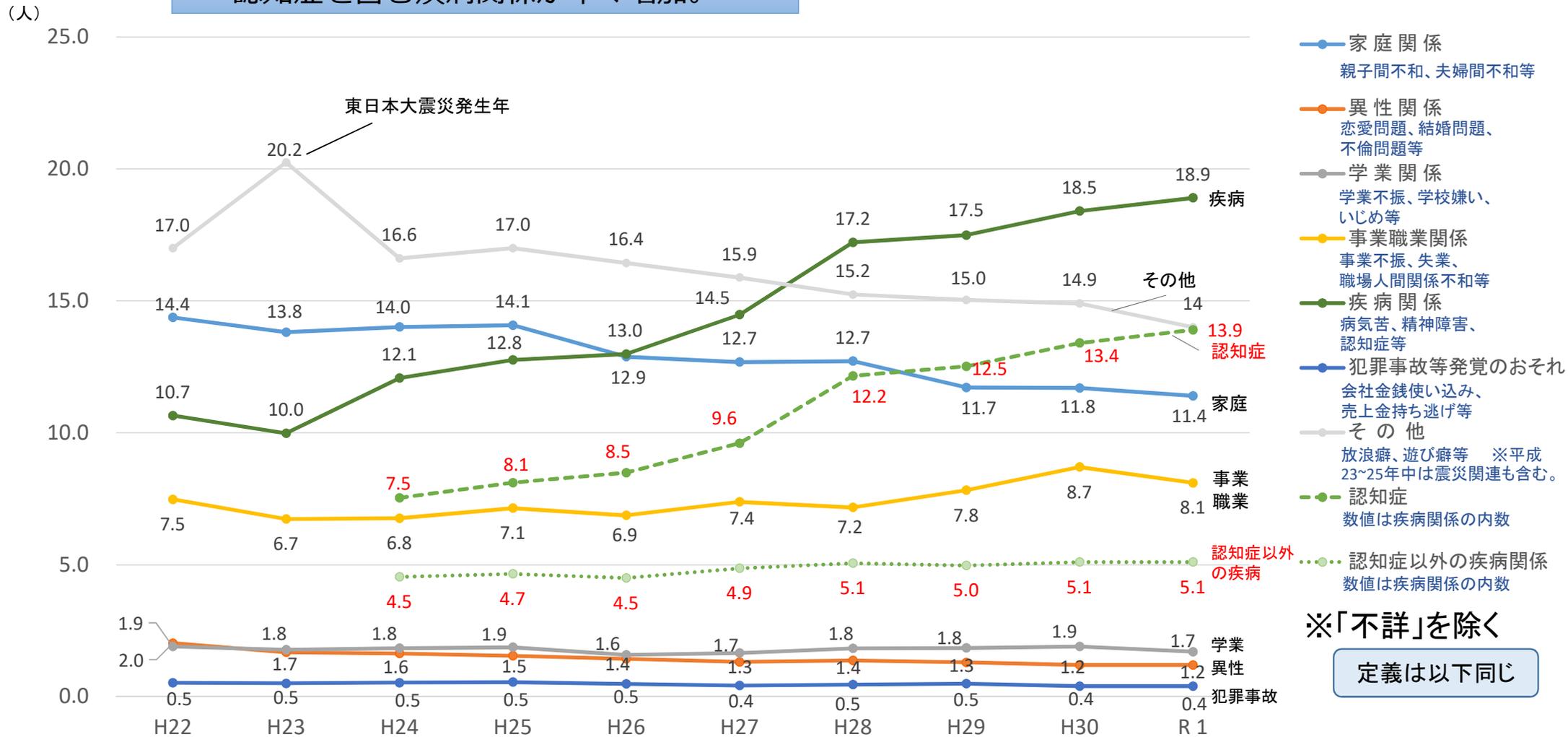


3 行方不明者数の原因・動機別推移

※人口10万人当たり

・ 認知症を含む疾病関係が年々増加。

※ 小数第2位以下四捨五入



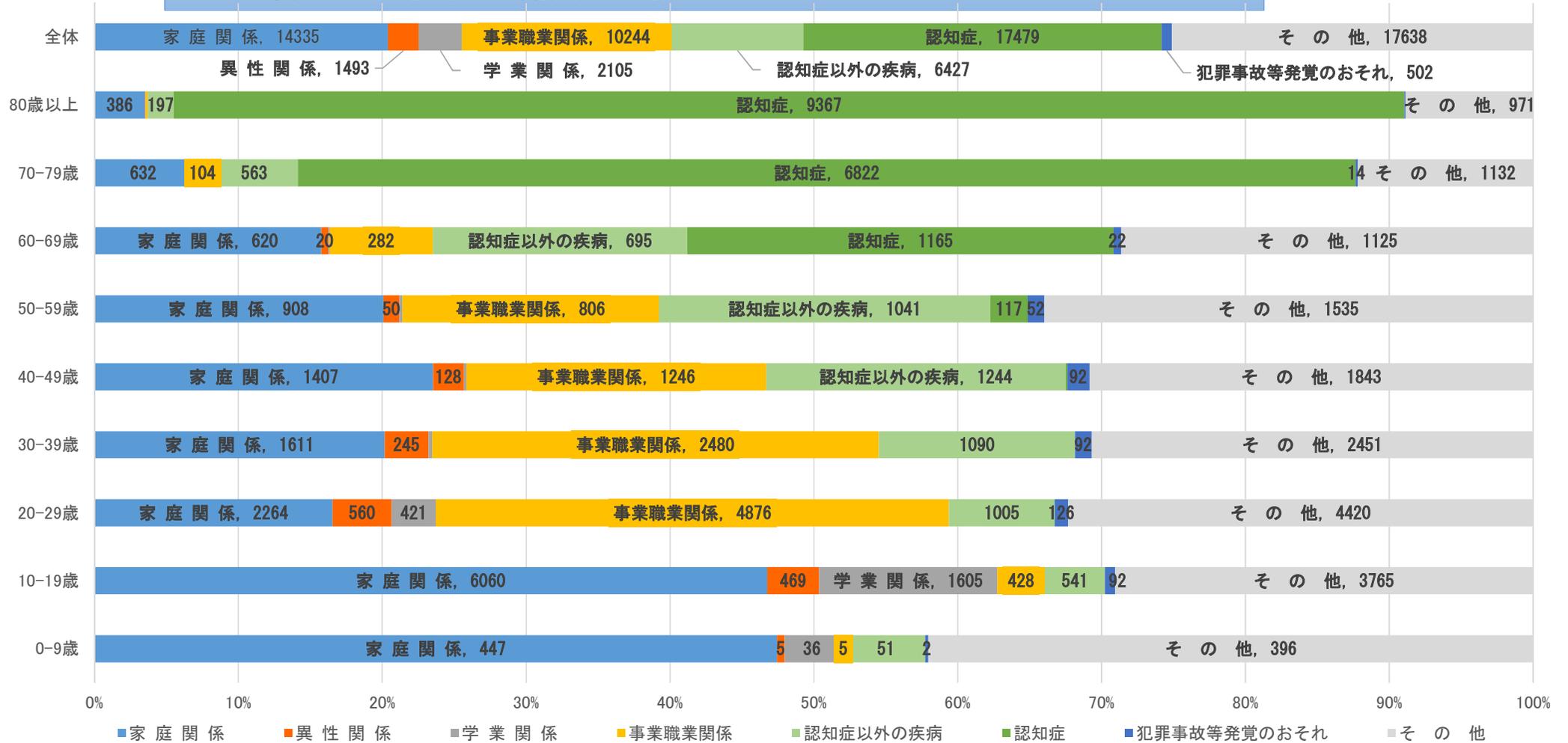
※「不詳」を除く

定義は以下同じ

4 令和元年中の行方不明者数の原因・動機別割合（年齢層別）

- 年齢層に応じて原因・動機別の割合が変化。
- 60歳以上は認知症の割合が増加。

※「不詳」を除く



5 行方不明者の所在確認等の状況

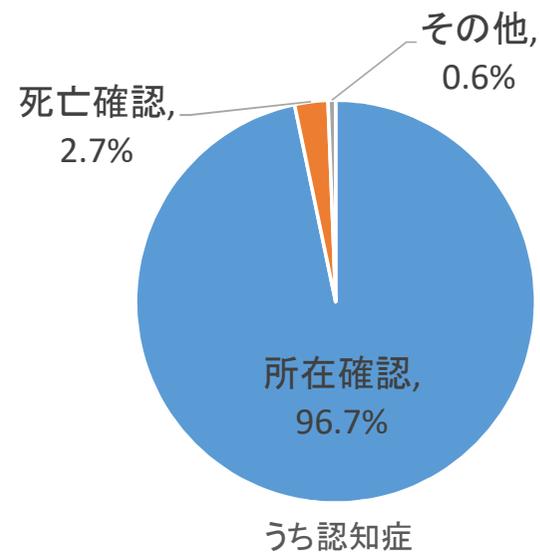
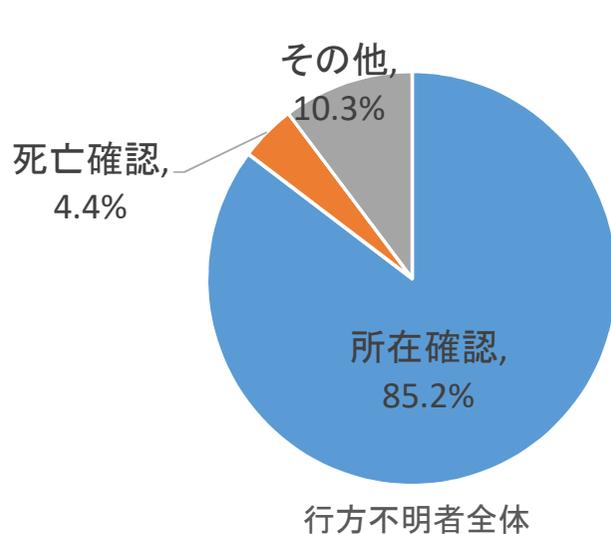
	令和元年中の 所在確認等の総数	所在確認		死亡確認		その他	
			構成比		構成比		構成比
行方不明者全体	84,362	71,910	85.2%	3,746	4.4%	8,706	10.3%
うち認知症	17,340	16,775	96.7%	460	2.7%	105	0.6%

所在確認・・・警察又は届出人等において所在が確認された者

※ 小数第2位以下四捨五入

死亡確認・・・警察において死亡が確認された者

その他・・・届出が取り下げられた者等



6 令和元年中に所在確認された行方不明者の所在確認までの期間

- 認知症行方不明者は受理当日に約7割が所在確認されるなど、行方不明者全体と比較して早期に所在確認。

	所在確認 の総数	受理当日		2日～7日		8日～14日		15日～1ヶ月		1ヶ月～3ヶ月		3ヶ月～6ヶ月		6ヶ月～1年		1年～2年		2年以上	
		構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	構成比	
行方不明者全体	71,910	33,640	46.8%	24,548	34.1%	2,448	3.4%	2,139	3.0%	2,739	3.8%	1,513	2.1%	1,480	2.1%	1,364	1.9%	2,039	2.8%
うち認知症	16,775	12,021	71.7%	4,654	27.7%	36	0.2%	32	0.2%	14	0.1%	5	0.0%	3	0.0%	6	0.0%	4	0.0%

